

第2回事業者部門会議の概要

1. テーマ 関西電力(株)とBEMSアグリゲータとの協業による電力ピーク対策

2. 目的

- ・東日本大震災以降、供給力不足に対応するため、需要側の節電、電力ピークカット等を促す仕組みが数多く用意され、その中で、電力会社からの要請に応じて、利用者が電力の使用量を削減する「デマンドレスポンス」の取組みも新たに用意された。
- ・デマンドレスポンスの取組みは始まったところであるが、今後、電力システム改革が進めば、電力料金の低減、エネルギー効率の向上、更には電力の安定供給に寄与する重要な機能となりえる。
- ・需給ひっ迫時に、関西電力がBEMSアグリゲータとの協業で実施した電力ピーク対策について、関係者が集まり議論することで、今後の取組みの進展に向けたきっかけとする。

3. 会議の開催

(1) 日時：平成25年11月14日(木)午後3時～午後5時

(2) 場所：大阪府咲洲庁舎38階会議室

(3) 出席者：

・関西電力(株)

・BEMSアグリゲータ

イオンディライト(株)、(株)ヴェリア・ラボラトリーズ、(株)エナリス、NKワークス(株)、(株)NTTファシリティーズ、(株)エービル、(株)環境経営戦略総研、(財)関西電気保安協会、(株)関電エネルギーソリューション、(株)グローバルエンジニアリング、(株)洗陽電機、住友電気工業(株)、ダイキン工業(株)、パナソニックESエンジニアリング(株)、パナソニック(株)エコソリューションズ社、(株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、福島工業(株)

・ファシリテーター 株式会社カーボンオフ 竹若富三郎氏

(4) 概要

- ・関西電力(株)からBEMSアグリゲータとの協業による電力負荷調整の取組みについて、(株)環境経営戦略総研と(株)エナリスからデマンドレスポンス事例について説明があり、意見交換を行った。
- ・その他、BEMSアグリゲータへのアンケート調査結果や、今冬の電力需給状況等について情報共有を行った。

(5) 意見交換の主な内容

- この取組みによる効果はまだまだ少ないと思うが、課題は何と考えているか。
⇒ (関西電力) BEMSを導入しているお客さまは、普段から省エネに取り組まれており、負荷調整の要請時には、お客さまから「負担のかかる取組みとなる場合もある」といった意見もあることから、負荷調整を実施することによるお客さまの活動影響等も考慮しながら、取組内容について引き続き検討していきたい。
- 事業者が取り組もうとするインセンティブをもう少し増やす必要があるのではないか。
⇒ (関西電力) インセンティブについては、経済的に見合っているかも考慮する必要があるため、随時調整契約や取引市場における調達費用等も踏まえながら、引き続き検討していきたい。
- 現在試行的に実施されているデマンドレスポンスが夏と冬には必ず実施されるという形にして欲しい。BEMS導入の提案時に、デマンドレスポンスによるコスト削減効果も含めることができると、投資回収年数も短くなり、販売促進につながる。
⇒ (関西電力) まずはしっかりと知見を集めたい。デマンドレスポンスによるネガワットまたは供給力の確保、いずれにしても、それらの費用は電気料金にも影響することから、持続可能な費用水準でスキームを構築できるかという視点も考慮しながら、引き続き検討していきたい。